「地域と学校の連携・協働体制構築事業」関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）		公表先のURL（検討中であればその旨記載）
旭市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	・各学校において、教員の負担軽減のため、家庭科等の授業補助の支援を行うボランティアを要望する声が高まっている。	・地域コーディネーターを学校ごとに1名ずつ配置し、地域と学校の連携窓口の役割を担い、組織的・継続的な支援体制の構築を推進する。	全小・中学校に、地域コーディネーターを配置し、授業補助や環境美化活動に地域住民が参加するための調整を行う。	・学校、家庭、地域の組織的、継続的な連携・協働体制を構築し、一部に集中する負担軽減を図るとともに、適切な役割の分担のもと、子どもたちを育むための学校支援活動を推進した。	学校支援ボランティアの参加者のべ人数	657	人	1500	5117	4	もともと実施していた活動を地域学校協働活動で実施するなど、できることから始めたため、無理なく活動を始められた。 今後は、学校の求める活動だくでなく、地域の課題解決に向けた取り組みを実施していく必要がある。	https://www.city.asahi.lg.jp/soshiki/29/29350.html